

# 主題：キリストを経験し、享受し、表現する

メッセージ 16

## 使徒行伝において (3)

### 神の長子、イエスの霊、福音の内容

聖書：使徒 13:33-34. 16:6-7. 26:18

#### I. キリストは復活における長子、ダビデのあの聖なるもの、信実なものです——使徒 13:33-34 :

- A. 復活は人なるイエスにとって誕生でした。彼は彼の復活の中で神によって生まれ、多くの兄弟たちの間で神の長子となりました——ローマ 8:29 :
1. 彼は永遠から神のひとり子でした (ヨハネ 1:18. 3:16)。肉体と成った後、復活を通して、彼は彼の人性において神によって生まれ、神の長子となりました。
  2. 主イエスには二つの誕生がありました。まず、彼はマリアから生まれて人の子となり、次に復活を通して、彼は彼の人性において生まれて神の長子、また明示された御子となりました——ローマ 1:3-4 :
    - a. キリストの人性 (肉体) は神聖ではなく、人に属するものでした。
    - b. 彼の復活の中で、彼の人性は彼の神性へと、すなわち、彼の神聖な栄光へと明示され (復活させられ、引き上げられ) ました——ヨハネ 12:23. ルカ 24:25-26。
    - c. こうして、彼は彼の復活の中で神から生まれ、彼の多くの兄弟たち (神の多くの子たち) の間で神の長子となりました——使徒 13:33. ローマ 8:29。
    - d. 彼の贖われた信者たちは、同じ復活の中で彼と共に生まれ (再生され) ました——I ペテロ 1:3. エペソ 2:6 前半。
  3. 主は神のひとり子として、神聖な命の具体化です (ヨハネ 1:4)。キリストは復活を通して、命を分与する方として神の長子となり、命を増殖しました (12:24. ローマ 8:29-30)。
- B. 使徒第 13 章 34 節でパウロは、キリストの復活についてさらに言葉を語っています : 「神がイエスを死人の中から復活させ、もはや朽ち果てることの中に戻らせることがないことについて、神はこのように言われました、『わたしは、ダビデのあの聖なるもの、信実なものを、あなたがたに与える』」 :
1. ここの「聖なるもの」のギリシャ語の言葉は複数形です。同じギリシャ語の言葉が次の節の「聖なる者」に使われていますが、単数形です—— 35 節。
  2. しかしながら、それは「聖」に対する通常の言葉ではありません。これは、ヘブル語の「ケセド」のギリシャ語の等値語です。ケセドはイザヤ第 55 章 3 節、歴代下第 6 章 42 節、詩第 89 篇 1 節で、七十人訳でもキング・ジェームズ訳でも、「あわれみ」と訳されています。
  3. 詩第 89 篇で 1 節の「あわれみ」(複数—— KJV) という言葉は、19 節の「聖なる方」(単数) と同じ言葉です。この聖なる方はキリスト、ダビデの子であり、彼の中で神のあわれみは集中し、伝えられます。

4. ですから、使徒第 13 章 34 節で、「ダビデのあの聖なるもの、信実なもの」は、復活したキリストを指しています。これは文脈によって、特に次の節の「あなたの聖なる者」によって、またイザヤ第 55 章 3 節に続く節によって、十分に証明されます。
5. キリストは、肉によればダビデの子孫から出て来て、神によって起こされ、神が彼の選びの民に与えた大いなる賜物としての、命を与える霊と成りました。この賜物は、「あの聖なるもの、信実な [信頼できる] もの」と題されます。
6. 「あの聖なるもの、信実なもの」という句は、実は神聖な称号、キリストの称号です。これらの聖なる信実なものは、すべてを含む命を与える霊としてのキリストが、わたしたちにとって何であるかのすべての面です—— I コリント 2:9-10, 15:45 後半。
7. 旧約で、聖なる信実なものは、あわれみと考えられます。復活したキリストは、神がすべてを含む賜物としてわたしたちに与えた、あわれみとしてのすべての聖なる信実なものです——イザヤ 55:3. 歴代下 6:42. 詩 89:1.

**II. 使徒第 16 章 6 節から 7 節は、使徒たちを彼らの務めの中で導いたイエスの霊、聖霊としてのキリストを、わたしたちが経験し享受することができることを示します：**

- A. 使徒パウロと彼の同労者たちの福音の拡大のための行動は、彼らの決定や好みにしたがっていたのではなく、あるいは人の会議によってなされたどのようなスケジュールにしたがっていたのでもなく、イエスの霊によりました。
- B. イエスの霊はイエスの実際、実際化です。イエスの霊は、苦難に対する十分な力を持つ人の霊です—— 22-34 節。
- C. イエスの霊は、彼の中に神性を持つ神の霊であって、わたしたちが神聖な命を生きるようにするだけでなく、彼の中に人性を持つ人なるイエスの霊でもあって、わたしたちが正当な人の生活をし、その苦難に耐えるようにします。
- D. そのようなすべてを含む霊は、使徒たちの宣べ伝える務め、すなわち、人類の間で、人の生活にある人の存在のために遂行される苦難の務めのために必要とされました。
- E. 「聖霊」は、新約における神の霊の一般的な称号です。「イエスの霊」は、神の霊に関する特別な表現であり、肉体と成った救い主の霊を指しています。彼は人性におけるイエスとして、人の生活と十字架上の死を経過し、死人の中から復活して神聖な命を増殖し、それを彼のすべての信者たちの中へと分け与え、天に昇って主またキリストとされました。この霊は、すべてを含むイエスの総合計また完全な実現です：
  1. わたしたちが主のために行なう働きは、わたしたちがそれによって導かれ、またそれをもって構成されているその霊にかかっています。この霊はわたしたちの構成要素となるべきです。
  2. その時わたしたちの働きはこの霊の表現となり、わたしたちはすべてを含む方としてのイエスを供給する働きを行ない、そのような方としての彼を人に伝達します。

**III. すべてを含むキリストは福音のすべてを含む内容です：**

- A. わたしたちは使徒第 26 章 18 節における神聖な使命の内容について祈り、それらをわたしたちの経験また実際として、人をこの経験と実際の中へともたすことができるよう、主に求める必要があります——エペソ 3:8-9 :
1. 「彼らの目を開き」:
    - a. わたしたちは知恵と啓示の霊を求めて絶えず祈り、キリスト、キリストのからだ、神聖なエコノミーのための神聖な分与をますます見る必要があります—— 1:17. 3:5. 参照、啓 4:6. 3:17-18. マタイ 6:6。
    - b. わたしたちは主に対する新しい知識と彼に対する新しいビジョンがなければ、前進することはできません——使徒 26:16. ペリピ 3:8 後半, 10 前半, 13. 参照、申 4:25。
    - c. 奉仕者また証し人となることは、教えや知識の事柄ではなく、現れとビジョンの事柄です。わたしたちがその中で主を見た事、また主がその中でわたしたちに現れた事は、わたしたちが人に供給しなければならない事です——使徒 22:14-15。
    - d. いったんあなたが神のご計画のビジョンを見て、あらゆることからキリストご自身へと回心したなら、あなたの内側に、あなたを活気づけて神のご計画を完成させるものがあるでしょう——ガラテヤ 1:15-16. ローマ 15:16. I コリント 15:10。
  2. 「彼らを暗やみから光へ……立ち返らせる」:
    - a. 光は神の臨在です——イザヤ 2:5. I ヨハネ 1:5。
    - b. わたしたちは、光に満ちた人となる必要があります——ルカ 11:34-36。
    - c. 神が与えた分け前としてのキリストに対する享受は、「光の中」にあります——コロサイ 1:12. I ヨハネ 1:5. ヨハネ 8:12. 1:4. 詩 119:105, 130. マタイ 5:14. 啓 1:20。
    - d. わたしたちは内側で活動する神によって、世にあって発光体となり、命の言葉を提供する必要があります——ペリピ 2:12-16。
    - e. わたしたちは、わたしたちを暗やみから、驚くべき光の中へ召してくださった方の美德を、告げ知らせる必要があります——I ペテロ 2:9。
  3. 「彼らを……サタンの権威から神に立ち返らせる」:
    - a. わたしたちの霊的な経験における最高の点は、その上に御座のある明確な空を持つことです——エゼキエル 1:22, 26 :
      - (1) 明確な空の上に御座を持つことは、わたしたちの存在の中で主に首位を与え、わたしたちの生活の中で最高の最も卓越した地位を与えることです——コロサイ 1:18. 参照、エゼキエル 14:3。
      - (2) わたしたちがその上に御座のある明確な空の下にいるなら、真の権威がわたしたちと共にあって、人を神の権威の下にもたすでしょう——II コリント 10:4-5, 8. 13:3, 10。
    - b. 主に対するわたしたちの極みまでの愛は、わたしたちを資格づけ、成就し、装備して、主の権威をもって主のために語らせませす——参照、ヨハネ 21:15-17。
  4. 「それは……彼らが罪の赦しを受けるためである」:

- a. わたしたちは主に行って、わたしたちのすべての罪の徹底的な赦しを受ける必要があります—— I ヨハネ 1:7, 9。
  - b. ダビデは神に、彼の違反をぬぐい去り、彼を罪科から徹底的に洗い、彼の罪から彼を清め、ヒソプをもって彼の罪をきよめ、彼の中に清い心を創造し、彼の内にある堅固な霊を新しくして、彼が神の臨在を享受し、神の家、召会を建造することができるようにとお願いしました——詩 51:1-2, 7, 9-11, 18 :
    - (1) ヒソプは、へりくだりと、へりくだった人の性質におけるキリストを予表し（列王上 4:33 前半. 出 12:22 前半）、わたしたちの仲保者また犠牲としてのキリストを暗示します（ヘブル 8:6. 9:15. 10:9）。
    - (2) ダビデのように、わたしたちは神の臨在の中にとどまって、徹底的な真の悔い改めと告白を持ち、神から完全な赦しを受ける必要があります。
    - (3) わたしたちが自分の罪を告白して神の赦しを受けるなら、神の救いの喜びを持ち、自発的な霊をもって支えられます。そしてわたしたちは違反する者たちに彼の道を教え、罪人は彼に立ち返るでしょう——詩 51:12-13。
5. 「それは……彼らが……聖別された人たちの間での嗣業を受けるためである」:
- a. この嗣業は三一の神ご自身と、彼が彼の贖われた人のために持つすべて、行なったすべて、行なうであろうすべてです。
  - b. 三一の神はすべてを含むキリストの中に具体化され、キリストは分け前であり、聖徒たちに彼らの嗣業として割り当てられています——コロサイ 2:9. 1:12。
  - c. わたしたちは霊なるキリストを、わたしたちの嗣業の担保として（エペソ 1:14）、「人たちの間で」、すなわち、召会生活の中で享受します（参照、II テモテ 2:22）。
  - d. わたしたちは人々を召会生活の中で、すべてを含むキリストの享受の中へともたす必要があります。それは、彼らが霊を活用することを通して、わたしたちのようにキリストを享受し、神の聖なる性質をもって性情において聖別されるためです——ヘブル 2:10-11. I コリント 1:9. II コリント 4:13。